

## 救命救急センターの指定について

名古屋医療圏の「名古屋市立東部医療センター」について、平成30年2月1日から、重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる救命救急センターとして指定する。

＜愛知県救命救急センター設置要綱に対する名古屋市立東部医療センターの状況＞

主な要件項目		名古屋市立東部医療センターの状況	適否
大項目	詳細項目		
運営方針	原則、すべての重篤な救急患者の24時間体制での受け入れ可能	現在も、24時間365日体制で救急患者を受け入れている。	○
	医学生、臨床研修医、医師、看護学生、看護師及び救急救命士等に対する救急医療の臨床教育の実施	医学生：臨床実習研修 10人延べ93日 臨床研修医：1年次研修 13人延べ14ヶ月 医師・看護師：ICLS4回 延48人、BLS6回 延108人 救命救急士：9人 延べ129日 看護学生：28年度ICU実習なし 29年度実施予定 ※ 基本的に受講申請があれば受け入れを実施。	○
整備基準	重篤患者を受け入れる専用病床（概ね20床以上）の設置	救命救急センターとして、ICU4床、その他16床の計20床	○
	資格を有する責任者の有無（日本救急医学会救急科指導医、専門医又は認定医のいずれか。）	有（責任者は、日本救急医学会認定救急科専門医の認定者。）	○
	専任医師数	専任医師6名	○
	各診療科の医師を適時確保できる体制の確保	時間外及び休日の医師配置について、循環器内科、脳神経外科、産婦人科は宿日直対応。その他の診療科はオンコールによる対応。	○
	集中治療室（ICU）（適当数）の設置	ICU4床 （※平成28年度のICU病床利用率は53.7%。入退室基準を定め常に一定程度の空床が確保されており、ICU4床で不足等なく対応可能と判断される。）	○
施設の耐震構造	救命救急センター相当箇所は全て免震構造。	○	

## 名古屋市立東部医療センターにおける救命救急センターの概要

- 1 開設者  
名古屋市代表者 名古屋市病院事業管理者 病院局長 大原 弘隆
- 2 母体病院施設名  
名古屋市立東部医療センター
- 3 所在地  
名古屋市千種区若水一丁目2番23号
- 4 救命救急センターの責任者  
安藤 雅樹（日本救急医学会認定救急科専門医）
- 5 運営開始年月日  
平成30年2月1日
- 6 運営病床数  
ア 救命救急センターの病床数 20床  
[ICU 4床、その他 16床]  
イ 母体病院の病床数 478床（救命救急センターの病床数を除く）
- 7 医療従事者数  
ア 医師 専任 6人、兼任59人  
イ 看護師 専任45人、兼任48人  
ウ 薬剤師 兼任28人  
エ 診療放射線技師 兼任26人  
オ 臨床検査技師 兼任19人
- 8 救命救急センターの位置  
救急・外来棟1階：処置室、その他 16床  
救急・外来棟3階：ICU 4床
- 9 ヘリポート  
病院近接地の飛行場外離着陸場  
（平成31年度供用開始予定の新病棟の屋上にヘリポート設置）
- 10 耐震構造  
全て耐震基準適合構造。

### <指定に向けた今後の予定>

平成29年

9月13日 愛知県医療審議会5事業等推進部会で検討・承認。

11月 下旬 愛知県医療審議会に報告。

平成30年

2月 1日 救命救急センターとして指定。